

第1学年 「ヒラヒラ コロコロ」(つくりたいものをつくる) 学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は、身の周りの転がる材料を生かして、楽しく転がる面白いおもちゃをつくることをねらいとしている。

目標

- 転がるおもちゃの仕組みに興味を持ち、面白いおもちゃをつくることを楽しむことができる。
- 転がるおもちゃを材料の組合せを試しながら、つくるとともに、転がると楽しくなるように工夫してつくることができる。
- 友達の作品に関心をもったり、つくったもので友達と楽しく遊んだりすることができる。

表現内容

- 何を： 転がるおもちゃを
- 何で：【主材料】紙コップ・紙皿、ラップのしんなど転がるもの 飾りの材料(紙テープ・ビニールテープ・色画用紙・折り紙など)で
- 【造形要素】
 - ・転がる材料の組合せと転がる動き
 - ・色や形の組合せの美しさ
- どのようにして：
 - ・材料の組合せを考えて、つくり変えたり、直したりして
 - ・回ると楽しくなる模様や飾りを組み合わせ
 - ・つくったら転がしてみ

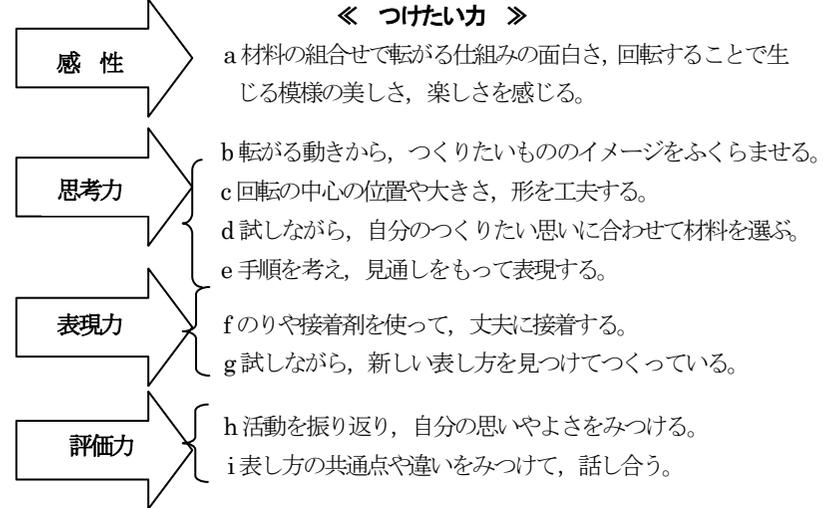
子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちは、1学期に「みんななかよし」(つくりたいものをつくる)で、重ねた2枚の紙をはさみで切り、思いのままに楽しい飾りをつくる活動で見せた以下の実態から、本題材でつきたい力を次のように考えた。

《 子どもの実態 》

- ・紙を重ねて切ると、同じ形ができることに気付き、楽しさや面白さを感じることができた。
- ・重ねてできた2枚の形から、色の組合せを工夫して周りの飾りをつくることができたが、一方で、自分では発想が浮かばず、難しさを感じている子どももみられた。
- ・はさみで切る活動においては、前時までの学習を通してできるようになっているが、のりで接着する活動では、技能が伴わず、つくことに難しさを感じた子どももいた。
- ・自分や友達の作品を見せ合い、互いのよさを見つけ、認め合うことができた。

《 つきたい力 》



4つの力を働かせ、認知する活動や手立て

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値づけを行っていく。

◆ 教えること	㊦ 探求活動	㊧ 交流活動	㊨ 振り返り活動	共感的価値付け
<ul style="list-style-type: none"> ・材料に合った接着のしかた ・飾りで使う材料の接着のしかたと加工のしかた ・交流の視点 (転がした時の飾りの楽しさ) 	<ul style="list-style-type: none"> a 転がる材料との出合い体験(材料体験) a 転がるおもちゃの試しづくり d いろいろな飾りの付け方の資料コーナー d 材料コーナー g 転がして試す場の設置 	<ul style="list-style-type: none"> hi 友達のよいところを見つけ、アドバイスし合える交流 i お互いの表現や活動のよさを交流する時間 	<ul style="list-style-type: none"> h 4つの力の自己評価 h 振り返りノート記述による活動の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・見取りたい子どもの姿の設定 ・見取り表の作成 ・言葉掛け ・聞き取り ・まとめの価値付け

2 指導計画 (5時間)

◆教えること ㊦探求活動 ㊧交流活動 ㊨振り返り活動

配時	発想・構想 ① (本時1/5)	表現 ②	表現 ③④ (本時3/5)	鑑賞 ⑤
主 活 な 動	1 材料を転がして遊び、つくりたいものの発想をふくらませる。	2 転がるおもちゃのつくり方を知り、材料を組合せて転がる形をつくる。	3 転がるおもちゃに楽しい飾りをつける。	4 自分や友達作品を見せ合いながら遊び、よさを見つけ、認め合う。
見 取 り ど た も の イ メ ー ジ の 例	・いろいろな材料を転がして遊び、材料の組合せで、色々な形の転がるおもちゃができる楽しさを感じている。 ・身の回りにある材料の中で、転がる材料を思い浮かべ、つくりたいもののイメージをふくらませている。	・いろいろ試しながら、自分が納得する転がる材料の組合せを考えている。 ・材料にあった接着方法を用いて、しっかり接着している。	・飾りの色や形、飾りをつける場所を考えながら、飾りをつけている。 ・試しコーナーへ行き、転がったときの飾りの見え方を試しながら表現している。 ・友達の作品を見て、転がったときの飾りのつけ方で工夫しているところを伝えている。	・できたおもちゃで楽しく遊んでいる。 ・自分の作品のこだわりを友達に紹介している。 ・友達の作品の転がる様子を見て、どんなところが工夫されているか見つけている。
力 せ る を 認 手 働 か す た か す	◆転がる材料の組合せ (演示) ㊦材料体験 ㊧場の提示 ㊨転がるおもちゃの試しづくり ㊩振り返りノート	㊦転がる材料の組合せ資料 ◆接着方法の演示と資料 ㊨振り返りノート	◆材料の接着のしかたと加工のしかた ㊦飾りの付け方の資料 ㊧材料コーナー ㊨転がして試す場 (坂) の設置 ㊩アドバイスし合える交流 ㊩振り返りノート	◆交流の視点 ㊩できた作品で遊ぶ交流 ㊩振り返りノート
学 習 活 動 と 内 容 (O)	(1) 転がる材料の組合せを考えながら仮接着をし、できたものを転がして遊ぶ。 ○材料の組合せで、いろいろな形のおもちゃができる楽しさを感じ取ること (感) ○転がる材料の組合せ方に気付くこと (思) ○自分がつくりたいおもちゃのイメージがふくらむこと (感) (2) 活動を振り返り、次時学習の見直しをもつ。 ○活動を振り返り、自分の活動のよさに気付くこと。 (評) ○発想に合った材料をいくつか思いつくこと (思) (課外) 材料を集める。	(1) 転がる材料の組合せを、前時を振り返りながら、決める。 ○よく転がる材料の組合せを考えること (思) (2) 転がるおもちゃの形をつくる。 ○つくる手順を知り、活動の見直しをもつこと (思) ○接着の仕方がわかること (表) ○試したり、確かめたりしながらつくること (思・表) (3) 自分の活動を振り返り、次時学習の見直しをもつ。 ○活動を振り返り、自分の活動のよさに気付くこと。 (評)	(1) 資料から飾りの付け方を知る。 ○色画用紙や折り紙等を用いた飾りを付けると、転がった時に、楽しくなることに気付くこと (感) ○いろいろな材料を見て、自分の表現に生かせることを思いつくこと (思) (2) 転がるおもちゃに楽しくなる飾りをつける。 ○飾りの色や形、飾りをつける場所を考え、試しながらつくること (思・表) (3) 友達の作品を見合い、交流する。 ○自分や友達の表現のよさに気付くこと (感・評) (4) 転がるおもちゃがもっと楽しくなるように、飾り付けを工夫する。 ○紙テープ、折り紙、色画用紙等の材料を用いて飾り付けをすること (思・表) (5) 自分の活動を振り返る。 ○活動を振り返り、自分の活動のよさに気付くこと (評)	(1) おもちゃを転がして遊ぶ。 ○自分がつくったおもちゃで楽しく遊ぶこと (表) (2) 自分の作品を紹介したり、友達の作品を見たりして、感想を交流する。 ○ねらいに沿った視点をもって、自分のがんびりや工夫、作品の紹介を言葉で説明すること (評) ○友だちの作品のよさに気付き、言葉で伝えること (評) (3) 自分のがんびりや成長を振り返る。 ○振り返りノートに自分のよさや友達のよさを書くこと (評)

6 展開

3 本時目標

- 材料を組合せて、転がる楽しいおもちゃを考えることができる。
- 自分や友達の表現や活動のよさを見つけることができる。

4 授業仮説

- 以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、材料を組合せ、いろいろ試しながら、自分がつくりたいおもちゃのイメージをふくらませることができるであろう。
- ㊦自分の思いに合わせて材料を選べるような、形の異なる材料のコーナー
 - ㊦できたものを試すコーナー
 - ㊦互いの表現や活動のよさに気付きやすい机の配置（4～5人のグループ学習）
 - ㊦㊦自分や友達の表現、活動のよさを見つけ、学びや価値を共有するための交流とノートを使った振り返り

5 準備

子ども…転がる材料、はさみ
 教師…材料コーナー、試しのコーナー（坂）、ビニールテープ、紙皿、紙コップ、見取り表、振り返りノート

主な学習活動と内容（○）	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること（◆）	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 本時のめあてを知る。</p> <p>○転がる楽しいおもちゃをつくることを確かめ、活動の意欲をもつこと（感）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ざいりょうをくみあわせて、ころころころがるおもちゃをかんがえよう。</p> </div> <p>2 転がる材料の組合せを、いろいろ試して遊ぶ。</p> <p>(1) 転がる材料を組合せて、仮接着をする。</p> <p>○材料の組合せで、いろいろな形のおもちゃができる楽しさを感じ取ること（感）</p> <p>○転がる材料の組合せ方に気付くこと（思）</p> <p>○自分がつくりたいおもちゃのイメージがふくらむこと（感）</p> <p>(2) できたものを転がして試す。</p> <p>○よく転がる材料の組合せを考えること（思）</p> <p>○丈夫な接着のしかたに関心をもつこと（表）</p> <p>3 本時の活動を振り返り交流して、次時の活動への見通しをもつ。</p> <p>(1) 試しコーナーで見つけた友達作品のよさを、全体で発表する。</p> <p>○自分や友達の表現のよさに気付くこと（感・評）</p> <p>(2) 振り返りノートを書く。</p> <p>○交流から、自分がつくりたいおもちゃのイメージをもち、自分の活動を振り返ること（思・評）</p> <p>(3) 本時のまとめを聞く。</p> <p>○材料の組合せ方の気付きを確かめること</p>	<p>㊦集めた材料の組み合わせでさらに楽しいおもちゃにしていけるよう意欲をもたせるために、事前に参考作品を見せ、材料を準備させておく。</p> <p>◆仮接着をして材料の組合せの試しができること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料はビニールテープで接着する。 <p>㊦自分の思いに合わせて材料を選べるように材料コーナーを設置する。</p> <p>㊦互いの表現や活動のよさに気付きやすくするために、4～5人のグループの机の配置にする。</p> <p>㊦試しのコーナー（坂）を設置し、できたものがどのように転がるか試すことができるようにする。</p> <p>㊦全体交流を行い、転がり方の工夫に気付かせる等学びや価値を共有できるようにする。</p> <p>㊦顔マークに色をぬることで、本時の活動を振り返ることができるようにする。</p> <p>◆いろいろ試したことで、よく転がる材料の組み合わせがわかったこと</p> <p>◆本接着は、丈夫にする必要があることから化学接着剤を使用すること、そのため、接着しにくい材料があること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・転がりそうな材料を準備している。 ・材料を組合せると、もっと楽しいおもちゃになりそうだと、今日の活動への意欲が高まっている。 ・材料コーナーへ行き、自分の思いに合った組合せ方を考えている。 ・円状の立体を組合せることで、さらに大きな円をつくる面白さに気付いている。 ・友達同士で組合せ方を交流し合ったり、仮接着作業を手伝い合ったりしている。 ・試しコーナーへ行き、転がり方を確かめながら表現している。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・ころころころがるね。</p> <p>・がたがたころがるよ。</p> <p>・音がする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・友達作品を見て、転がり方の面白いところや、組合せ方で工夫しているところを伝えている。 ・自分の活動を振り返り、次時の活動でしたいことを具体的に思いついている。

3 / 5時間

第1学年 本時図画工作科学学習指導案

6 展開

3 本時目標

- 飾りの色や形を工夫しながら、転がる楽しいおもちゃをつくることができる。
- 自分や友達の実現や活動のよさを見つることができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、飾りの色や形、付ける場所を工夫しながら楽しんで作品をつくることのできるであろう。

- ㊦自分の思いに合わせて材料を選べるような、材質や色の異なる材料コーナー
- ㊦自分の思いを表現するために参考となる飾りの付け方の資料コーナー
- ㊦できたものを試すコーナー
- ㊦互いの表現や活動のよさに気付きやすい机の配置（4～5人のグループ学習）
- ㊦自分や友達の実現、活動のよさを見つけ、学びや価値を共有するための全体交流

5 準備

子ども…のり、はさみ、飾り付けの材料、化学接着剤

教師…材料コーナー（紙テープ、色画用紙、ビニールテープ）
飾りの付け方の資料、見取り表、参考作品
試しのコーナー（坂）

主な学習活動と内容（○）	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること（◆）	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを知る。</p> <p>○転がる楽しいおもちゃをつくることを確かめ、参考作品を見て、活動の意欲をもつこと（感）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ころがるおもちゃに、たのしいかざりをつけよう。</p> </div> <p>2 転がるおもちゃに、飾りをつける。</p> <p>(1) 飾りの付け方の資料を見て、色々な飾りの付け方があることを知る。</p> <p>○材料のもつよさに気付くこと（感）</p> <p>○自分の表現にどう生かすか、イメージをもつこと（感・思）</p> <p>(2) 自分の作りたい思いにそって、転がるおもちゃに飾りをつける。</p> <p>○自分の思いに合った材料を選んだり、色の組合せを考えたりすること（思）</p> <p>○飾りをつける場所や加工の仕方を考えて表すこと（思・表）</p> <p>○材料の特質に合わせた接着の仕方で表すこと（思・表）</p> <p>○試しながらつくること（思）</p> <p>3 本時の活動を振り返り交流して、次時の活動への見通しをもつ。</p> <p>(1) 作品を転がしたり、友達の実現を見たりして交流する。</p> <p>○自分や友達の実現のよさに気付くこと（感・評）</p> <p>(2) 交流したことから、自分の活動を振り返る。</p> <p>○次時に付けたい飾りのイメージをもつこと（評・思）</p>	<p>㊦飾りをつけて楽しいおもちゃにする意欲を高めるために、自分が作ったおもちゃを転がしたときの気持ちを思い起こさせる。</p> <p>㊦参考作品のおもちゃが転がる様子から、飾りの楽しさを見つける。</p> <p>㊦転がるおもちゃが、転がした時に楽しくなるような飾りをつけるようにするために資料を提示する。</p> <p>◆材料に合わせて接着すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙はのりで接着する。 ・接着しにくいものは、化学接着剤を使う。 <p>◆材料の特質を生かした加工のしかたがあること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色画用紙をくるくる巻いて ・折り紙を好きな形に切って など <p>㊦自分の思いに合わせて材料を選べるような材料コーナーを設置する。</p> <p>㊦つけた飾りがどのように転がるか試すことができるように試しのコーナー（坂）を設置する。</p> <p>㊦互いの表現や活動のよさに気付きやすくするために、4～5人のグループの机の配置にする。</p> <p>㊦全体交流の中で、転がったときに見える飾りの面白さや美しさなどの工夫に気付かせ、学びや価値を共有できるようにする。</p> <p>㊦全体交流させることで、本時の活動を振り返ることができるようにするとともに、次の時間に頑張りたいことを発表させることで、活動の見通しをもたせるようにする。</p> <p>◆材料や付け方を工夫することにより、転がったとき楽しい飾りになること</p>	<p>・自分のつくりたいものに合わせて、飾りの材料を準備している。</p> <p>・飾りをつけると、もっと楽しいおもちゃになりそうだと、今日の活動への意欲が高まっている。</p> <p>・参考作品の飾りの楽しさを見つけ自分の表現につなげようとしている。</p> <p>・飾りの付け方の資料コーナーに行き、自分の思いに合った飾りの付け方を考えている。</p> <p>・色の組合せや飾りをつける場所を考えながらつくっている。</p> <p>・材料に合わせた接着の仕方で、飾りを付けている。</p> <p>・試しコーナーへ行き、転がったときの、飾りの色や形の美しさ・面白さに気付いている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>転がったとき、紙テープがひらひらしてきれいだね。</p> </div> <p>・友達の実現を見て、転がったときの飾りの見え方で面白いところや、飾りの付け方で工夫しているところを伝えている。</p> <p>・自分の活動を振り返り、次時の活動でしたいことを具体的に思いついている。</p>